

月刊 地球基地

今月のごあいさつ

こんにちは。アースベースのノザワです。
ニュースレター4月号をお届けします。今回は3月号との合併号であります。本当は3月に送るべきなのですが、そこはアスベ流ってわけで、いつもの2倍お楽しみ頂けると幸いです。言い訳すると、3月はメンバーである大統領と会談したり、巨人の4番を打ったり、サッカーでゴールを決めたり、ナントカ学園を見に行ったりと本当にてんてこまいだったもんで。あ、ちょっと遅いエイプリルフールです…。本当は忙しかったのと間に合わなかった…。あとは怠慢です（反省）。



海と肉じゃがとところの町

広島県呉市といったら肉じゃがが発祥の地で有名です。京都舞鶴との説もありますが、東郷平八郎がビーフシチューを部下に作らせようとしてそれが誕生したというのは共通のようです（※諸説あり）。それにしても肉じゃががコロケは美味しいですね。誰が作ったのでしょうか。東郷さんより偉大かもしれません。

閑話休題…。

そんな呉市で行なわれた『シビックマーケット』という障害者就労支援共同販売事業の催しの横断幕や幟のデザイン・加工・施工のお仕事をさせていただきました。

このデザインは当事業所のMa c 班・K林が腕によりと肩にコリをかけて作った自慢の逸品です。イメージはたくさんの「輪」で繋ぐ暖かな心。

“ハンディを持ったぼくらでも出来る”

“感謝の想いを形にすることが出来る”

という指向のもと、「ところ」のPRを描いています。

脇にいる「呉氏」は同市のマスコットキャラ。呉の字をモチーフにした現地の人気者で、公式ホームページでは軽やかなダンスを披露しています。「あれ、“呉”っていう字こんなんだったかな？」と思いながらご視聴下さい。きっと呉市に行ってみたくくなりますから。そんな経緯で…か、どうかはさておき、もしも呉に行ったらシビックマーケットが催されていたら是非



立ち寄ってみてください。横断幕や幟を見ていただくと共に、商品にも目を向けてもらって『ところ』を感じる事ができるはずですよ。



青い三角状の儀

三角形の強化段ボールに、所々図が抜かれた青いシート。ぴたりと合わせて奇麗に貼ると、軽くて丈夫な青い三角形が出来ます。決して定規ではないので青春は飛び出てきません。これのままだと正体不明ですが、パーツは30以上もあり、組み立てると半球状のドームが出来上がります。正確には三角の平面で構成された風体で、イメージは名古屋ドーム屋根みたいな感じです。

これの正体は地球儀です。白い部分が大陸、青い部分が海になっています。一部の三角形の中央には穴が空いています。

地球、穴・・・もうお解りですね、そう穴はオゾンホールを表しているのです。近年地球的規模な問題である二酸化炭素や温室効果ガスによる地球温暖化の影響を示す物で、そのドームの中に入って現状を目で見て、さらにそこに置いてある環境や世界情勢に関する資料を見られるというコンセプトです。

今回は、地球の抱えている問題や現状を伝えるという展示の加工と施行をさせていただきました。場所は世界の事情の伝導者、JICA さんの地球広場。数年前よりお仕事をさせていただいており、仕事を通じて世界の事を見直すきっかけを作っていただきました。是非みなさまも JICA へ行って、体験してみてください。

“青い三角”が教えてくれたのは、見つめる何かは真上の空と、その先に繋がっている地球全体の問題なのかもしれません。



編集後記

4月3日、アースベースでも入所式が行われました。花曇りが続き、桜の開花もちょっとストップがかかっていた時分ではありましたが、この日は晴天。桜も咲いて、美しく新年度の門出を祝福してくれました。三名の新メンバーが加わり、よりグレードアップしたアースベースを、平成29年度もどうか宜しくお願いします。

《次号予告》えどがわ環境財団さんにお話を伺わせていただきました。その模様は次号に掲載予定です！その前にそちらから聞いた耳よりGW情報です。毎年恒例『花の祭典』が5月3・4日に行なわれます！こちらで様々な草花を楽しんでみてはいかがでしょうか。



【月刊地球基地】 発行人：一般社団法人 EARTH BASE
健全者と障がい者が一緒になってサイン・看板・ポスターなどを製作しています。

〒132-0034 東京都江戸川区小松川 3-2-1 テクノタウン 306
TEL : 03-5875-5941 FAX : 03-5875-5942 mail : info@earth-b.jp URL : <http://www.earth-b.or.jp/>